

印西市企画提案型協働事業 事後評価シート(比較表)

1. 協働事業の概要

事業名称	印西市木下地区歴史講座
事業の実施者	実施団体名 木下まち育て塾 所管部署 生涯学習課
事業の趣旨・内容	木下地区に残る町家や文化財の価値を学ぶことにより、地域の人たちとともにその理解を深め、愛着をもって印西市に住む市民へのふるさと意識をより高める。 内容: 市民歴史講座 全4講座 年2回 各回10名 計20名 会場: 吉岡ましかど博物館 夏期・冬期特別公開講座 各1回計2回 計100名
実施期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日

2. 事業の評価

	設問	木下まち育て塾				印西市			
		十分できた	できた	不十分	全くできなかった	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
(協働事業開始前) 2次審査開始前	Q1 申請者と関係各課との間で相談や協議を行いましたか。	1. 実施した 2. しなかった				1. 実施した 2. しなかった			
	Q1で実施したと回答した場合 相談や協議は何回行いましたか。	2 回				2 回			
	Q2 相談や協議を行うことにより、相手方の主張について理解を深められましたか。		○				○		
	不十分と回答した場合はその理由を、また協議時に留意した点や気になった点などを以下に記入してください。	・定期講座内容について事業主旨に照らし検討 ・参加者への呼びかけ(広報)手段の確認 ・講座修了者へのフォロー施策 ・夏期・冬期特別講座の内容協議				・夏期・冬期講座内容の協議について早期に決定すること ・広報等周知方法の確認			
(協働事業開始後) 2次審査後 3次審査前	Q3 第2次審査終了後から第3次審査までに申請者と関係各課との間で何回協議を行いましたか。	1 回				1 回			
	Q4 事業の詳細を協議するにあたり「企画提案型協働事業実施要領」の事業の流れや提案にあたっての留意事項を参考としましたか。	1. した 2. しなかった				1. した 2. しなかった			
	Q5 パートナーシップの考え方や協働事業の取り組み方等を双方で確認できましたか。		○				○		
	Q6 お互いの立場、置かれている状況、特性を理解できましたか。		○				○		
	Q7 協議は対等・協力的に行えましたか。		○				○		
	Q8 共有すべき課題について確認できましたか。		○				○		
	Q9 互いの果たすべき役割の認識・目標の分担ができましたか。		○				○		
	Q10 最終的な協働事業効果・事業成果について確認できましたか。		○				○		

(2次審査後) 3 次審査前)	設問	木下まち育て塾	印西市																
	不十分と回答した場合はその理由を、また協議時に留意した点や気になった点などを記入してください。	・事業全体の参加者拡大のための施策の検討 ・制作物の費用の見積もり検討 ・講座全体について一貫性のあるようにテーマ・内容を確認																	
協働事業実施中	Q11 打ち合わせ(協議)を何回行いましたか。	1 回	1 回																
	Q12 事業の中間報告や市担当職員が現地に赴くなど、パートナー双方が進捗状況を確認したり、自由な意見交換を行いましたか。	1. 行った 2. 行えなかった	1. 行った 2. 行えなかった																
	Q12で行ったと回答した場合 報告や現地確認は何回行いました	報告 12 回 現地確認 12 回	報告 12 回 現地確認 12 回																
	Q13 当初の課題についてより深く理解し、新たな課題を共有できましたか。	<table border="1"> <tr> <td>十分できた</td> <td>できた</td> <td>不十分</td> <td>全くできなかった</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	十分できた	できた	不十分	全くできなかった	○				<table border="1"> <tr> <td>十分できた</td> <td>できた</td> <td>不十分</td> <td>全くできなかった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	十分できた	できた	不十分	全くできなかった		○		
	十分できた	できた	不十分	全くできなかった															
	○																		
十分できた	できた	不十分	全くできなかった																
	○																		
Q14 当初の事業内容や協議事項に変更が生じた際、柔軟に対応できましたか。	<table border="1"> <tr> <td>十分できた</td> <td>できた</td> <td>不十分</td> <td>全くできなかった</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	十分できた	できた	不十分	全くできなかった	○				<table border="1"> <tr> <td>十分できた</td> <td>できた</td> <td>不十分</td> <td>全くできなかった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	十分できた	できた	不十分	全くできなかった		○			
十分できた	できた	不十分	全くできなかった																
○																			
十分できた	できた	不十分	全くできなかった																
	○																		
Q15 打ち合わせ事項(合意事項)は記録に残しましたか。	1. 残した 2. 残さなかった	1. 残した 2. 残さなかった																	
協働事業実施後	Q16 成果を広く市民と共有できるよう取り組みましたか。	<table border="1"> <tr> <td>十分できた</td> <td>できた</td> <td>不十分</td> <td>全くできなかった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	十分できた	できた	不十分	全くできなかった		○			<table border="1"> <tr> <td>十分できた</td> <td>できた</td> <td>不十分</td> <td>全くできなかった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	十分できた	できた	不十分	全くできなかった		○		
	十分できた	できた	不十分	全くできなかった															
		○																	
	十分できた	できた	不十分	全くできなかった															
		○																	
	成果を共有するに当たり、どのような方法で情報発信を行ったか具体的に記入してください。	・講座修了後アンケートによる参加者の感想意見を集約 ・講座参加者に対し、塾活動の広報、事業参加への呼びかけを行った。 ・HP、フェイスブック等で事業内容について発信。	・参加者への地域情報・地域活動等の情報提供を主に行った。文化活動団体支援の立場から、参加者が協働事業者である団体へ参加する機会を提供するなどについて留意した。																
Q17 役割や責任分担は適切でしたか。	1. 適切 2. 適切でない	1. 適切 2. 適切でない																	
適切でないと回答した場合はその理由を記入してください。																			
Q18 資金負担は適切でしたか。	1. 適切 2. 適切でない	1. 適切 2. 適切でない																	
適切でないと回答した場合はその理由を記入してください。																			

	設問	木下まち育て塾				印西市			
		十分できた	できた	不十分	全くできなかった	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
協働事業実施後	Q19 課題の克服やニーズに応えることはできましたか。		○				○		
	不十分と回答した場合はその理由を記入してください。								
	Q20 当初設定した成果目標は達成できましたか。		○				○		
	不十分と回答した場合はその理由を記入してください。								
	Q21 協働で事業を実施したことは、単独で事業を実施するよりも効果があったと思いますか。	1. 思う 2. 思わない				1. 思う 2. 思わない			
	効果がなかったと思えない場合はその理由を記入してください。								
自由意見欄 協働事業を実施して感じたことやご意見などがありましたら記入をお願いします。		・住みよいまちづくりの一つに住んでいるまちの歴史を学びたいという市民のニーズをあらためて確認することが出来ました。市民団体として木下河岸から発展していった印西市というまちの成り立ちを学び、広く市民とともに共有するために、さらに継続的な事業を推進できるよう組織の力を高めたいと改めて感じました。							

市民活動推進課・総括

当提案は、まちづくりファンドで修復した蔵をまちかど博物館として活用している提案者が、木下・六軒地区の伝統文化伝承を目的に講座を企画実施したものです。平成26年度は昨年度に引き続き、春期・秋期に蔵での定期講座を各4回行い、夏期は公民館での特別講座、冬期は現存する文化財等の見学ツアーを実施しました。

事業の進行としては、講座は提案者が主体となって企画実施し、情報発信等は提案者及び市が相談の上で行いました。事業には必ず市職員が参加しており、事業企画から広報、運営まで提案者と市とのコミュニケーションは円滑に図れていたものと思われます。どの企画もほぼ定員に達しており、市民への浸透度も増じてきているようです。双方のパートナーシップについては、講座の参加者を団体活動に引き込む必要性を双方が課題として認識していることから、事業実施から3年が経過し信頼関係も成熟していることが窺えます。

以上から、本事業は文化振興を対象にした協働事業として一定の成果を挙げているものと思われます。